

在留邦人の皆様及びインドに渡航中の邦人の皆様へ

ホーリー、大規模イベント等に伴う注意喚起

2016年3月10日  
在インド日本国大使館

1 デリー近郊においては11日から13日までの間、世界文化祭（World Culture Festival）が開催され、期間中モディ首相や世界各国からのVIPをはじめ、非常に多くの参加者が見込まれ、ヤムナ川沿いの会場周辺は交通渋滞がおこることが予想されています。

また、24日はホーリー（ヒンドゥー教の春の祭）のため、場所によっては色粉や色水、物を投げつけられることもありますので、怪我等のないように十分気をつけてください。

今月は、各地でいろいろなイベントが開催され、多くの人出が想定されますので、トラブル等に巻き込まれることのないよう、くれぐれもご注意ください。

2 先日、インド西部グジャラート州当局は、テロリストが潜伏し、テロのおそれがあるとして、州内全域に警報を発出しました。これを受けて外務省は、グジャラート州におけるテロリストの捜索及び空港、駅、重要施設といった標的となり得る場所の警備を強化しているので注意を喚起する旨の「スポット情報」を発出しました。（以下URLご参照：

<http://www2.anzen.mofa.go.jp/info/pcspotinfo.asp?id={%countrycd%}&infocode=2016C066>）

この関係でインド政府は、グジャラート州だけでなく、デリー、ムンバイ、チェンナイ、コルカタ、ベンガルール等の各警察に対しても、重要施設や人混みの警戒を強化するよう警告を発し、これを受けて、デリー警察は国会開会中ということもあり、空港、地下鉄、市場等での警戒を強めています。

3 つきましては、在留邦人の皆様、インドに渡航中の皆様におかれましては、不測の事態に巻き込まれることのないよう、常日頃から最新の治安情報の入手に努め、以下の注意事項をご留意の上、ご自身及びご家族の皆様の安全に十分心掛けてください。

（1）早朝及び夜間における徒歩による外出は避ける。

（2）日中の移動においても、できる限り自家用車、タクシー等の車両を使用し、徒歩、バス或いはオートリキシャでの移動は極力避ける。

（3）外国人が多く集まるイベントや外国関係施設、寺院、モスク、催し物会場、マーケット、駅、空港など多数の人が集まる場所には用事のない限り近づかないようにする。

（4）繁華街や観光地区等への外出が必要な場合は、滞在を必要最小限とする。

（5）外出に際しては、常に周囲の状況に注意を払い、不審な状況を察知した場合には、速やかにその場から離れる。

4 テロ等対策に関しては、外務省海外安全ホームページに掲載されている以下の情報も併せてご参照ください。

(1) パンフレット「[海外へ進出する日本人・企業のための爆弾テロ対策 Q&A](#)」

(2) パンフレット「[海外旅行のテロ・誘拐対策](#)」

また、[インドの危険情報等](#)についても外務省海外安全ホームページに掲載されていますので、ご自身及びご家族の安全対策の参考にしてください。

(問い合わせ窓口)

○在インド日本国大使館

電話：(91) -11-2687-6564